

ひまわり



令和3年11月22日(月)

「ひまわりNo.25」の訂正：「ひまわりNo.25」で、次回の皆既月食は2025年9月8日だと伝えましたが、正しくは2022年11月8日でした。訂正します。ちなみに、今回と同じような「ほぼ皆既月食」が見られるのは、2086年11月21日です。

「2021年11月19日 部分月食 解説資料」（国立天文台）より

やはり当たり前のことが大切



テレビのスポーツ報道で、「ビッグフライオオタニサン」というフレーズが連発された一年でした。

「オオタニサン」とは、米アメリカンリーグの大谷翔平選手のことです。「二刀流」と称され、打者としては46本のホームラン・100打点・26盗塁、投手としては9勝2敗の大偉業でした。これにより、大谷選手はア・リーグのMVPとなりました。

彼のすごさについては、さまざまところで報道されているので、いまさら説明する必要はないでしょう。

それでは、彼のすごさの原点は何でしょうか。原田教育研究所の代表である原田隆史（はらだ たかし）さんの毎日新聞への寄稿文をもとに考えます。

人が成長できるのは、次の4つの要因が大切だと原田さんは言います。

「1 夢や目標をきちんと描けている」、「2 夢や目標に至るまでの行動を設定できている」、「3 行動を継続できている」、「4 その行動の失敗の振り返りができている」

大谷選手は高校時代（岩手県 花巻東高校）から、この4つの要因が習慣化されていたそうです。そして、4つの要因で最も習慣化するのが難しい「行動の継続」ができていたからこそ、ア・リーグでダントツのMVPに輝いたのでしょう。

また、彼が高校生の時に作成した目標管理シート（原田メソッド）に書かれた内容に興味を持ちました。内容は次のとおりです。

ドラフト1位で指名されるため、高校生時代の大谷選手は次の8つのことが大切だと考えていました。「コントロール」「キレ」「スピード160km/h」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」「体力づくり」

この中の「運」をつけるため、彼は次の行動を大切にしてきました。

「ごみ拾い」「部屋そうじ」「審判さんへの態度」「本を読む」「応援される人になる」「プラス思考」「道具を大切に扱う」「あいさつ」

また人間性については、次のことを大切してきました。

「愛される人間」「計画性」「感謝」「継続力」「信頼される人間」「礼儀」「思いやり」「感性」

これらのこととは、当たり前のことばかりです。つまり、当たり前のこと当たり前にすることこそ、大きな目標を達成するための大変な要素になるのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>